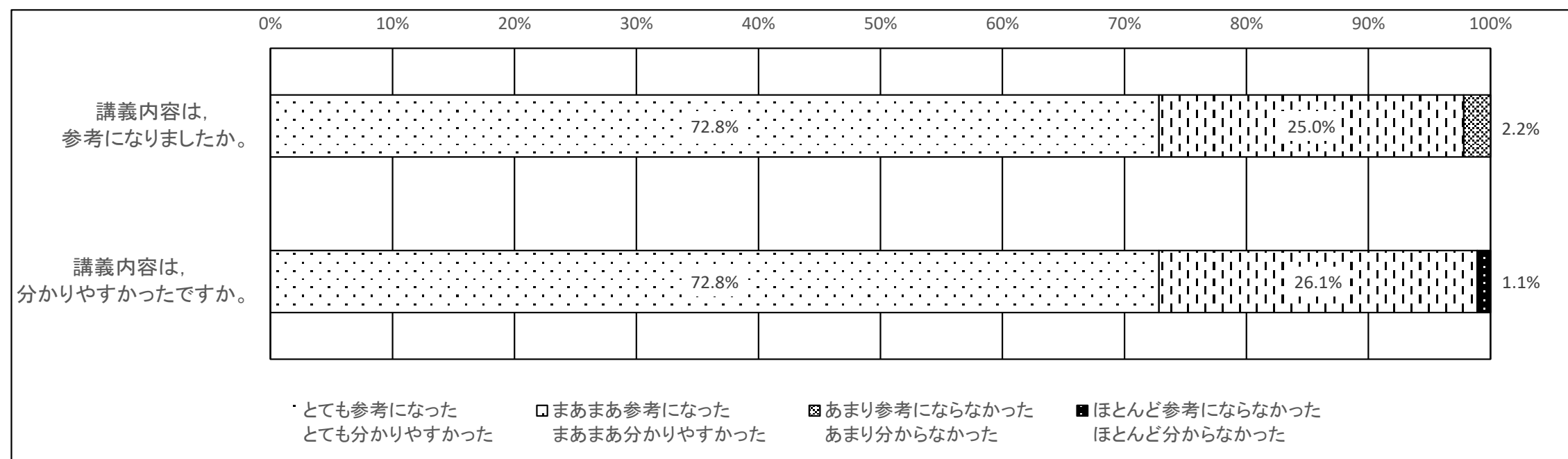


令和3年度「協働活動支援員・協働活動サポーター等研修会」参加者振り返りアンケート集計

【集計結果(全2回)】



【振り返りアンケートの記述内容から】

講義Ⅰ「子供との関わり方」に関する記述

- 子供から信頼され、気軽に話が出来た大人でありたいと強く思いました。
- 学年が上になるに伴って接し方が難しくなり、悩むこともありますが、子供たちの声に耳を傾けて、何か一つでも認めて、こちらの押し付けではなく、良いところを見つけるようにしたいです。
- 私たちが目にする子供教室での参加児童の姿はあくまで一面的なもので、その一面のみを見て憶測で指導したり、安易に判断を下したりするのは危険であると感じました。
- 子供だけでなく保護者や取り巻く環境をも把握して対応するというのは大変難しいですが、少しでもコミュニケーションが取れるように、笑顔で「いつでも受け入れ体制ありますよ」が伝えられる自分でありたいと思います。
- 地域全体で子供を育む環境づくりとして、放課後子供教室の活動の大切さを感じました。また、その中で出会う大人とのつながりには、子供たちに安心感を与えるという大きな役割があることを考えさせられました。

講義Ⅱ「地域学校協働活動における感染症対策」に関する記述

- 新型コロナウイルス感染症が1年以上続く中、予防も含め関連する情報を多く目にしていますが、改めて受講することにより正しい知識が身についたのではと思います。
- 専門的な内容なのに、私たちにも分かりやすく、先生が一生懸命伝えようとして下さるのがよくわかり、とてもよかったです。もっと多くの人に聞いてもらいたいと思いました。
- 感染症について改めて勉強できてよかったと思います。環境整備については、感染ありきでの対応を心がけ、衛生管理に努めていこうと思います。
- 感染症対策については、行政も、現場の指導員も、常に悩みながら実施しているので、今回の研修を参考に取り組んでいきたいと思います。
- 子供達が出血した時も素手で対応していましたが、思わない危険が潜んでいることにも驚きました。